

## 中国での食事・買い物

芦田彩希

中国での買い物や食事は日本と異なるところがたくさんあります。お店に入るたびに、新しい発見があります。

私はよく学校の食堂を利用しています。最近になり衛生面の管理のためにICカードで料金を払うシステムが導入されました。大きな食堂は学校内に2つあります。いつも利用する食堂は1階と2階に分かれており麺やご飯、鍋など料理の種類別に区切られています。1つの店舗には多いところでメニューが40種類ほどあり、毎日何を食べるか悩んでしまうほどです。値段は安いもので0.5元、7元(日本円で約100円)あれば十分満足できます。さらに食堂内にはその場で作ってくれる飲み物屋さんもあり、毎日のように豆漿(豆乳:日本と違って大豆をそのままお湯とミキサーにかけただけのもの)を飲んでいきます。食堂以外にも寮から少し歩いたところにもたくさんのお店が集まっているところがあります。ほとんどのお店の人は何度か通うようになると、日に日に仲良くなり雑談することもあります。私は中国のそのようなところが好きです。

買い物には许西(シューシ)という商店街を利用します。出店や小さなお店がたくさん並んでおり、ほとんどの物ならここで揃えられるほどです。お店によっては値段の駆け引きもでき、先輩の留学生はよく値切っています。また、中国では野菜と果物がとても安く、量り売りなので必要な分だけ買うことができます。外食はあまりせずに、自炊をよくしている留学生もいます。

以上のように、中国ならではの店もたくさんありますが、少し離れたところにある、大型スーパーでは日本の食材も売っています。大型のデパートには色々な国のブランドのお店が立ち並んでおり、利用するお客さんもラフな格好で来る人は見かけません。

身近なところには温かい家庭の雰囲気な料理屋さんや出店がありますが、少し出かけてみると現代風な大型デパートがあるこの太原はとても面白いところだと思います。数年前の留学生が「私がいたころにはこんな店はなかった。」と言っていたので日々変化していることを実感しました。まだいったことのないお店を覗いたり、日々楽しんでいきたいです。

・ 食堂の様子



・ 賑わっている许西の様子

